

別添2

小屋裏利用3階建枠組壁工法建築物
簡易構造設計基準チェックリスト

1 一般事項

本建築物は、昭和57年1月18日建設省告示第56号による枠組壁工法技術基準に基づく
ものであり、平成元年3月30日付建設省住指発第136号の通達による小屋裏利用3階建
枠組壁工法建築物簡易構造設計基準に従ったものである。

2 建築物の概要

建 築 面 積		延 床 面 積	
1 階 床 面 積		2 階 床 面 積	
3 階 床 面 積		屋 根 葺 材	
屋 根 形 状		屋 根 勾 配	

3 地盤の種類

(1) 砂 質	(2) 堅い粘土質	(3) ローム層
(4) その他(地盤の種類	・長期地耐力	t / m ²)

4 積雪量

地 域 の 別	(1) 一般地	(2) 多雪地
垂直最深積雪量	cm	

5 平面計画

床 の 形 状	別添 耐力壁配置図により形状化をチェックする。
---------	-------------------------

6 基礎

基 礎 の 形 状	基礎断面算定表に○で示す。
-----------	---------------

7 必要壁量算定表

階		床面積による必要壁量			見付面積による必要壁量					(ト)(ハ)と(ヘ)の大きい方 必要壁量 (cm)	
		(イ) 床面積 (m ²)	(ロ)(注1) 屋根材の種類及び積雪量による係数 (cm / m ²)	(ハ) = (イ) × (ロ) 耐力壁の長さ (cm)	(ニ)(注2) 壁の見付面積 (m ²)		(ホ) 風の強さによる区域別の係数 (cm / m ²)	(ヘ) = (ニ) × (ホ) 耐力壁の長さ (cm)			
					張り間方向	けた行方向		張り間方向	けた行方向	張り間方向	けた行方向
平家建											
2階建	1階										
	2階										
3階建	1階										
	2階										

(注1) 垂直最深積雪量を屋根勾配又は雪おろしの慣習により低減した場合は、その説明書を添付すること。

(注2) 見付面積は、その階の床面からの高さ1.35m以下の部分を除いたものとする。

8 設計壁量計算表

建築物の階数 (注1)	階	耐力壁の種類 (注2)		倍率 (注3)	張り間方向		けた行方向	
					長さ (cm)	有効壁量 (cm)	長さ (cm)	有効壁量 (cm)
(平家建・2階建・3階建)	1階	(1)	厚さ mmの ()	(イ)	(ロ)	(ハ) = (イ) × (ロ)	(ニ)	(ホ) = (イ) × (ニ)
			厚さ mmの ()					
			筋かい (ある、ない)					
		(2)	厚さ mmの ()					
			厚さ mmの ()					
			筋かい (ある、ない)					
		(3)	厚さ mmの ()					
			厚さ mmの ()					
			筋かい (ある、ない)					
		有効壁量の合計		—	—	—	—	—
	2階	(1)	厚さ mmの ()					
			厚さ mmの ()					
			筋かい (ある、ない)					
		(2)	厚さ mmの ()					
			厚さ mmの ()					
			筋かい (ある、ない)					
		(3)	厚さ mmの ()					
			厚さ mmの ()					
			筋かい (ある、ない)					
		有効壁量の合計		—	—	—	—	—

(注1) 該当するものを○印で囲むこと。

(注2) ()内には、片側壁面に打ちつける壁材の名称を記入し、筋かいにあつては、該当するものを○印で囲むこと。

(注3) ()内には、片側ずつの倍率及び筋かいがある場合の倍率(0.5)を記入すること。

9 主要部材表

種別	主要使用箇所		寸法形式(呼名)等(注1)						材料の規格 (注2)
枠組材	土 台		204	206	208			404	
	床	床 根 太 端 根 太 側 根 太	}	206	208	210	212		
	小屋 (注3)	天井根太 た る き		206	208	210	212		
	耐力壁	た て 枠 上 枠 下 枠	}	206	208			404	
床材・屋根下地・壁材	床材	構 造 用 合 板 パーティクルボード	厚さ____mm 厚さ____mm		サイズ____×____ サイズ____×____				
	屋根下地	構 造 用 合 板 パーティクルボード	厚さ____mm 厚さ____mm		サイズ____×____ サイズ____×____				
	耐力壁の壁材	()	厚さ____mm		サイズ____×____				
		()	厚さ____mm		サイズ____×____				
		()	厚さ____mm		サイズ____×____				
		()	厚さ____mm		サイズ____×____				
大臣認定材料									

(注1) 寸法形式については、該当するものを○印で囲むこと。

(注2) 材料の規格の記入例、甲種枠組材(2級)JIS A5907の450

(注3) 小屋にトラスを用いた場合には、トラスの構造耐力上の安全性を説明した書類を添付すること。ただし、住宅金融公庫「枠組壁工法共通仕様書」による場合は、この限りでない。

10 部材別最大支持スパン、ピッチ表

部 材	最大支持スパン (cm)	ピッチ(間隔) (cm)	備 考
1階 床 根 太			
2階 床 根 太			
3階 床 根 太			
天 井 根 太			
た る き			
た て 枠			座 屈 長 さ
屋 根 梁			部材の寸法型式
床 梁			部材の寸法型式
ま ぐ さ			部材の寸法型式

11 ただし書の適用

建 設 地 盤	(1) あ り	(2) な し
耐 力 壁 線 の 一 致	(1) あ り	(2) な し
基 礎	(1) あ り	(2) な し
構造耐力上主要な部材	(1) あ り	(2) な し

(注) (1)の場合には、別途構造耐力上安全であることを確かめることができる書類を添付すること。

別添 耐力壁配置図(単位：mm)

〔耐力壁線を記し、その上に耐力壁位置を記す。また、耐力壁線で囲まれた部分の床の形状比をチェックする。〕